

「暮らし満足No.1のまち」を目指して
～令和7年度見附市の取り組み～

見附市長 稲田 亮

市民からの評価

R6年度 市民アンケート

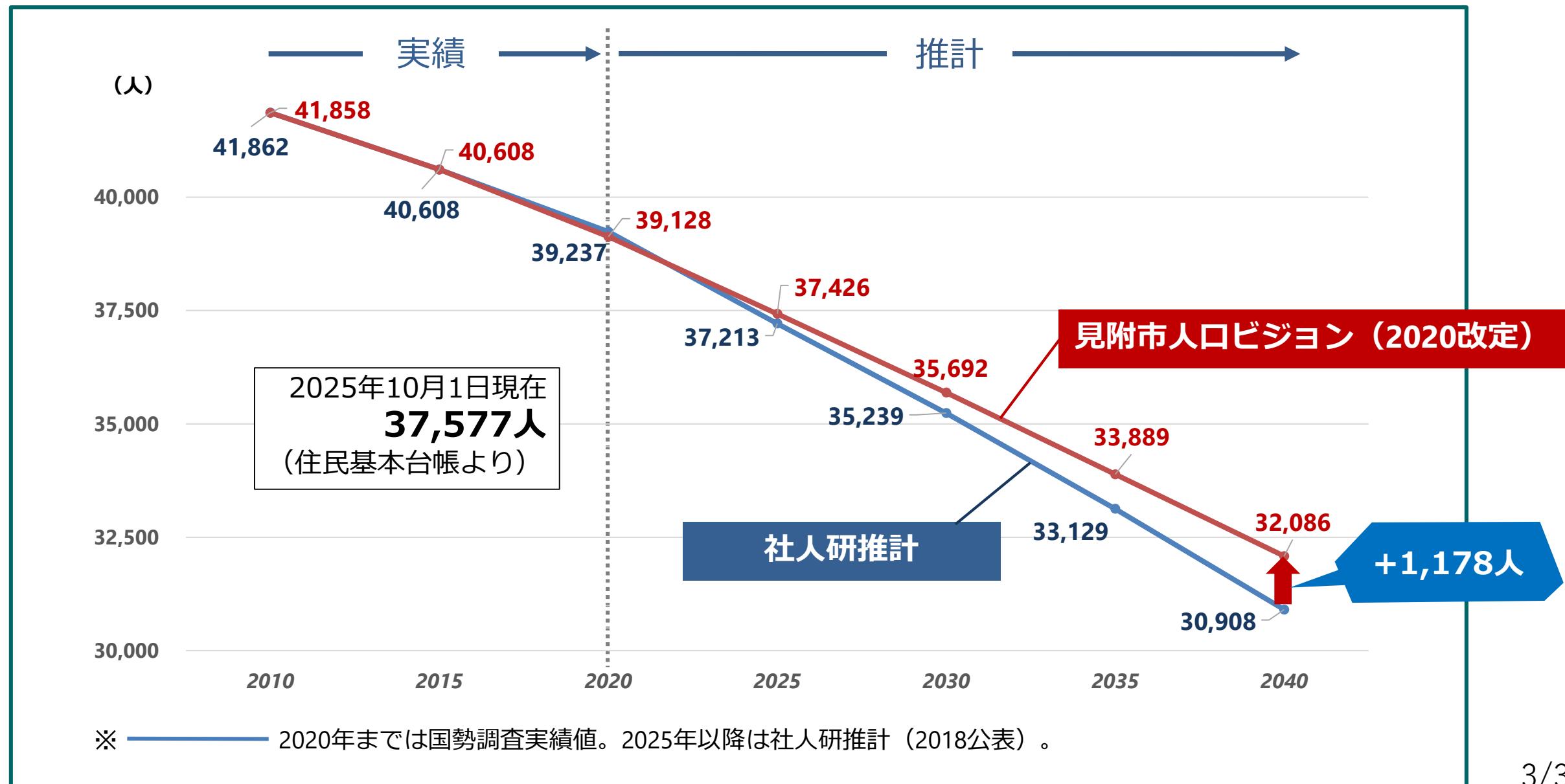
Q. 見附市は住み良いまちですか？

- 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合

91.2% → 91.8% 

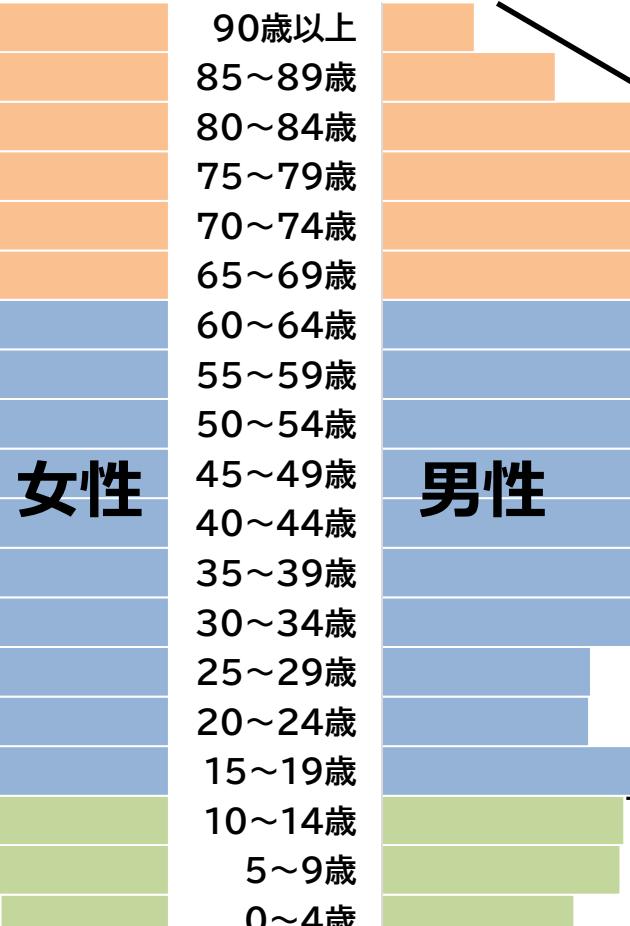
- 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合が
→ 高い年代 ①**50代 94.9%** ②**30代 94.7%** ③**70代 94.3%**
- 低い年代 ①**40代 88.0%** ②**20代 90.3%** ③**60代 90.5%**

見附市の人口の推計と目標



見附市の年齢別人口

2023年度



37,995人

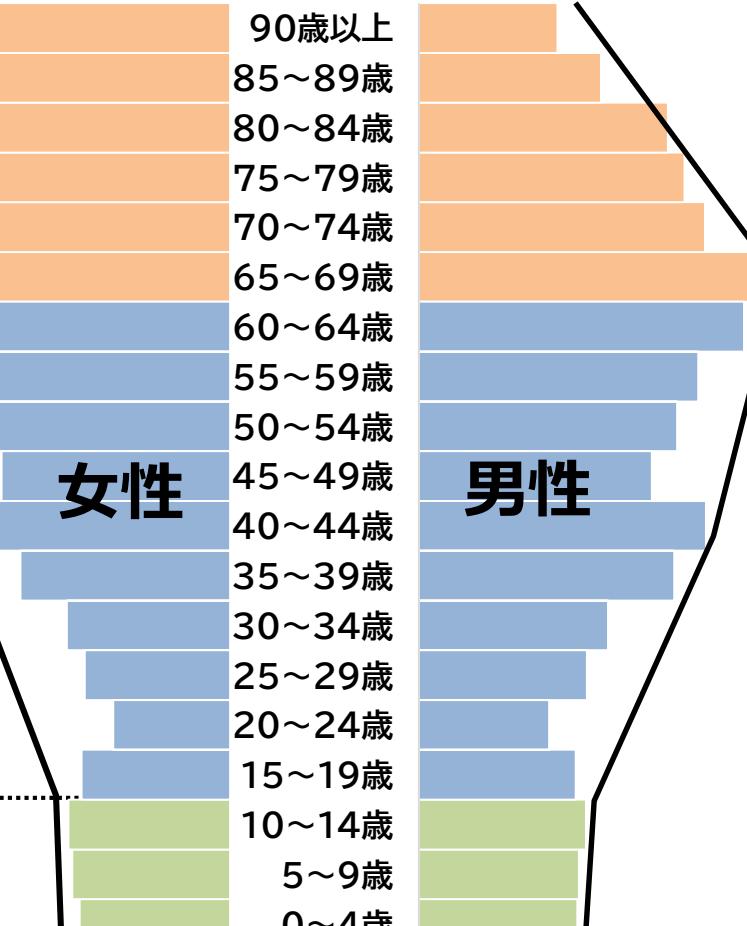
老人人口
13,094 ► 12,214
(34.4%) (38.1%)

生産年齢人口
20,642 ► 16,329
(54.3%) (50.9%)

年少人口
4,258 ► 3,543
(11.2%) (11.0%)

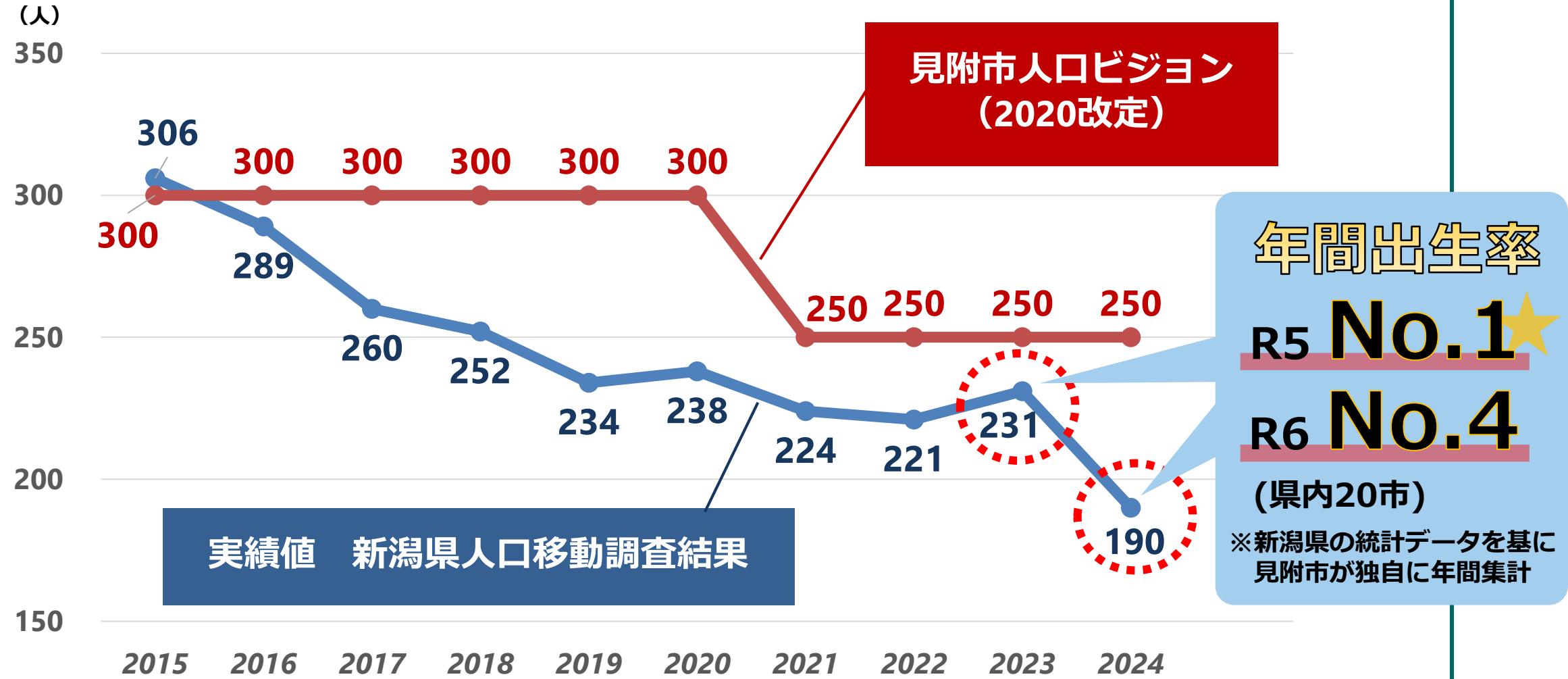
2040年度 (推計値)

※見附市人口ビジョンより

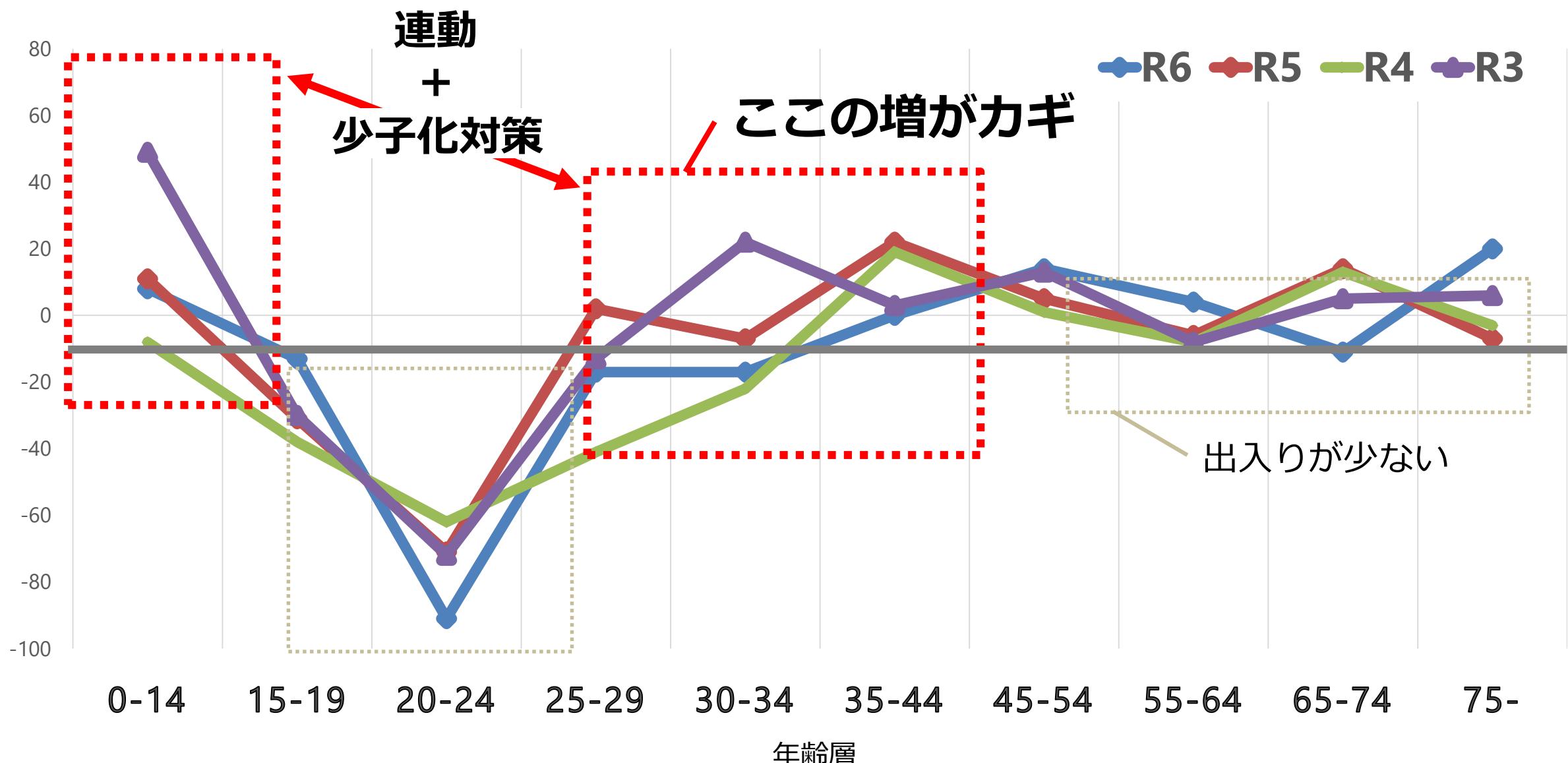


32,086人

見附市の出生数の推移



見附市の年齢階層別の人団移動状況



※新潟県人口移動調査より（前年10月～9月の人口移動の状況）

今後の課題と取り組むべきこと

人口減少抑制に向け

「住みたい」

「働きたい」

「子育てしたい」

主なターゲット

若者や子育て世帯

- ・魅力的な産業や働く場の創出
- ・住環境や子育て環境の充実 etc

と思えるまち

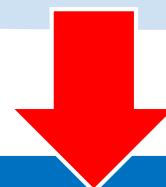


高齢者、障がい者 誰も取り残さない

市内外に広く発信
→ 移住定住促進

誰もが安心して暮らせるまち

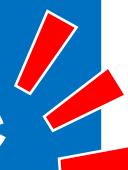
- ・地域医療や防災対策の充実
- ・市民力も活かして課題を解決



← リソース確保のための見直し

誰もが「暮らし満足No.1」と思えるまちに向け

新たなチャレンジ



総合計画と7つの柱

「暮らし満足No.1のまち」を目指して

第5次総合計画後期基本計画 「3つの方向性」



力を入れて取り組みたい
「7つの柱」

- ①まちと産業を元氣にする
- ②こどもと子育てを支える
- ③健幸づくりを支える
- ④暮らしの安心・安全を確保する
- ⑤市民の皆様に寄り添う
- ⑥あらゆる力を結集する
- ⑦行財政を検証し必要に応じ見直す

見附市のまちづくり SWC ~誰もが健やかに幸せに暮らせるまち~

外出したくなる魅力的な施設を市街地（3地域）に集約し
各地をつなぐ公共交通網を整備

▶施設の集約、運動事業、地域コミュニティ



ソーシャル
キャピタルも向上

地域コミュニティ

市内全域
11地区をカバー

▶各地をつなぐ公共交通網

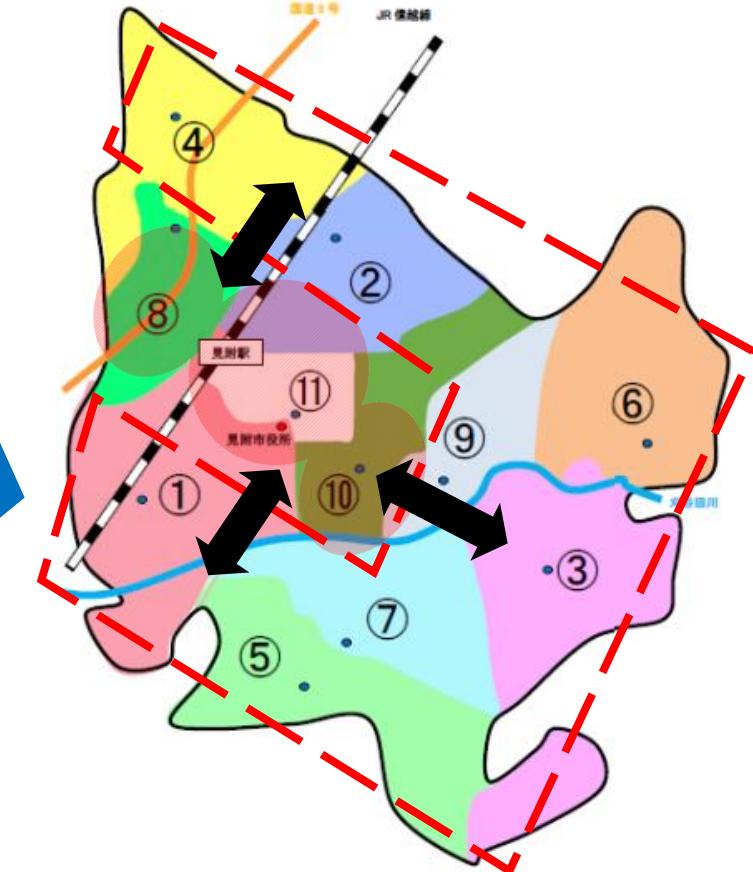


市内中心部の移動

中心部と各地域の移動

自家用車に頼らず歩いて移動
人の交流や歩数も増加

人口が減少しても持続できるまちづくりを市民の皆様とともに！



見附市のまちづくり SWC ~誰もが健やかに幸せに暮らせるまち~

▶運動事業の無関心層への取り組みと効果

- ・健幸アンバサダーによる
口コミ効果・勧奨はがき発送

→ 参加者の確保へつなげる



健康運動教室 約1,000人参加
健幸ポイント事業 約2,000人参加

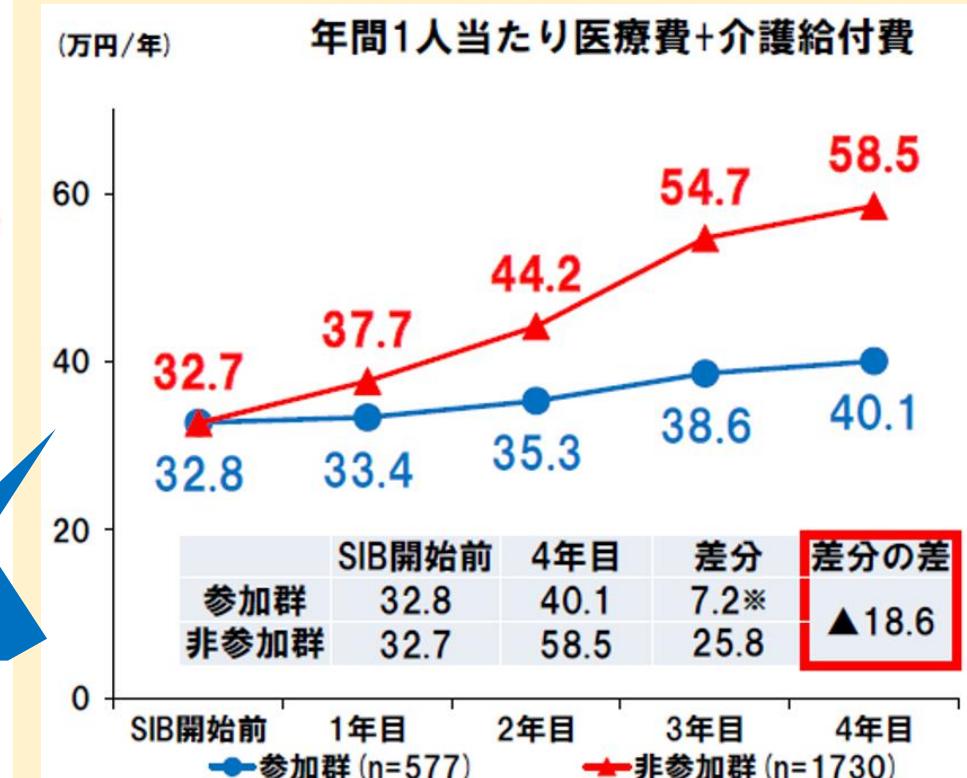


→ 参加者の歩数の継続的向上

抑制効果を検証

医療費・介護給付費の抑制

参加群、非参加群の差分の差は
18.6万円（年/一人当たり）【全年代】



(つくばウエルネスリサーチ社の資料より)

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 見附への移住・定住の促進

- ・民間事業者との連携による
移住戦略 策定 (R6)
- ・新しい移住PRサイト等による
本格的なプロモーション展開 (R7)

ニーズに合わせてご提案

- ・オーダーメイドツアー・お試し移住拠点との連携
- ・市民からの声掛けによる移住への支援
- ・ウエルネスタウンの価値を可能な限り保ちながら販売を加速

▶ 見附での結婚の促進

結婚支援・新生活支援

- ・県マッチングサービスの登録支援
- ・市内での新婚世帯の新生活支援



新たな**伴走型支援**を実施

→ ! 見附に住む・見附で子育てする人を増やす

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 交流人口の拡大

・スポーツツーリズム

- ・合宿などの来訪者へのおもてなし
- ・女子野球大会への支援



・長野・新潟ガーデンロード

- ・民間事業者によるツアー実施
- ・構成施設等との連携



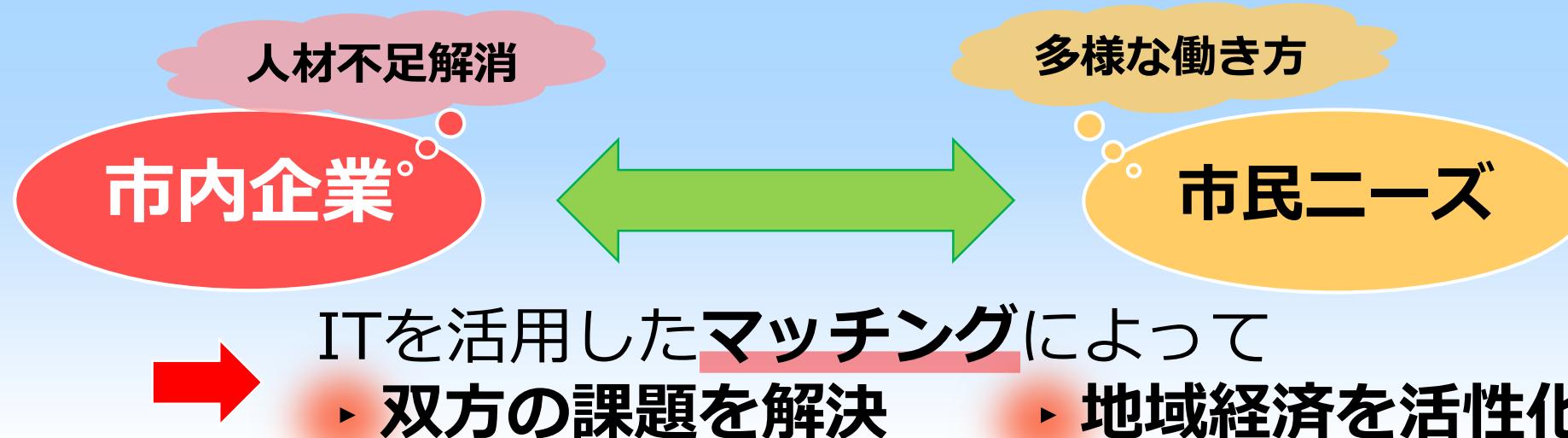
▶関係人口の拡大

- ・東京での**MITSUKE Meet up**の開催
- ・見附さぽーたの加入促進、30歳の大同窓会
- ・県立見附高校の特色化・魅力化の支援



7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 産業振興と人材確保



- ・子育て世帯への みつけ子育て応援券 の配布

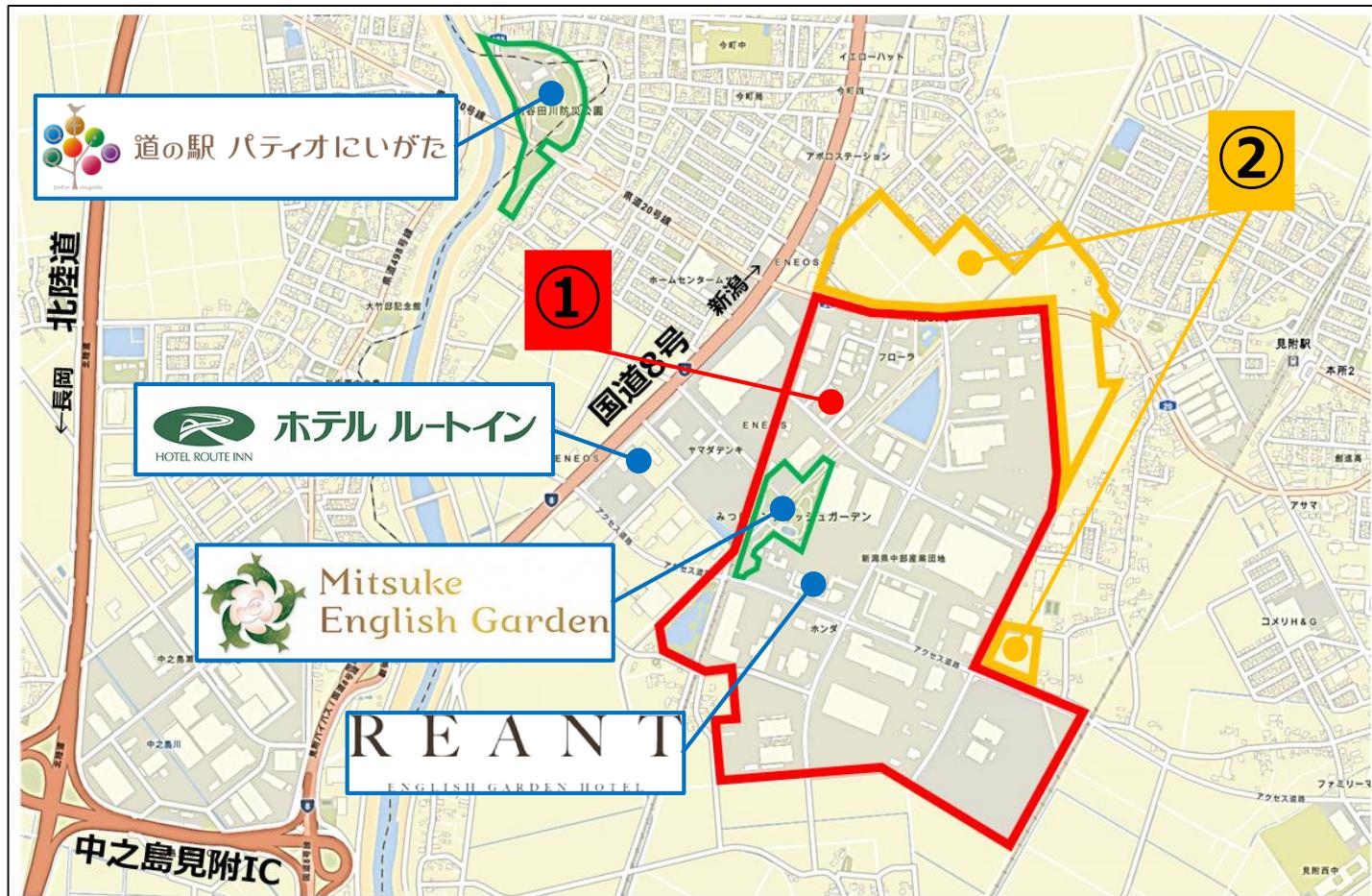
▶ 農業振興

- ・農業者 若手の会・女性の会 の立ち上げ
- ・水稻用機械等導入のための「若手農業者経営開始支援」
- ・将来を担う若手農業者の参入や継承・育成



7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 企業立地環境の整備



①新潟県中部産業団地

平成29年6月 完売
進出企業 54社

②都市計画見直し (R5年6月)

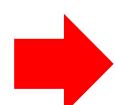
中部産業団地
周辺部約19haを
工業区域に編入

国の制度を
活用

③重点促進区域認定 (R7年6月)

2か所を設定

- ・ 中部産業団地周辺 (上新田)
- ・ 見附工業団地周辺 (芝野)



産業用地の確保により更なる企業誘致を推進

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 地域の交通環境の充実に向けて



課題

✓ 夜間帯の足の確保 ✓ 郊外地域における足の確保

経済活性化

地域活性化

- ・ジャンボタクシー夜間運行（ナイトコミタク）の社会実験
- ・バス・タクシー会社への第二種免許取得支援
- ・デマンド型乗合タクシーのあり方
- ・コミュニティワゴンの活用



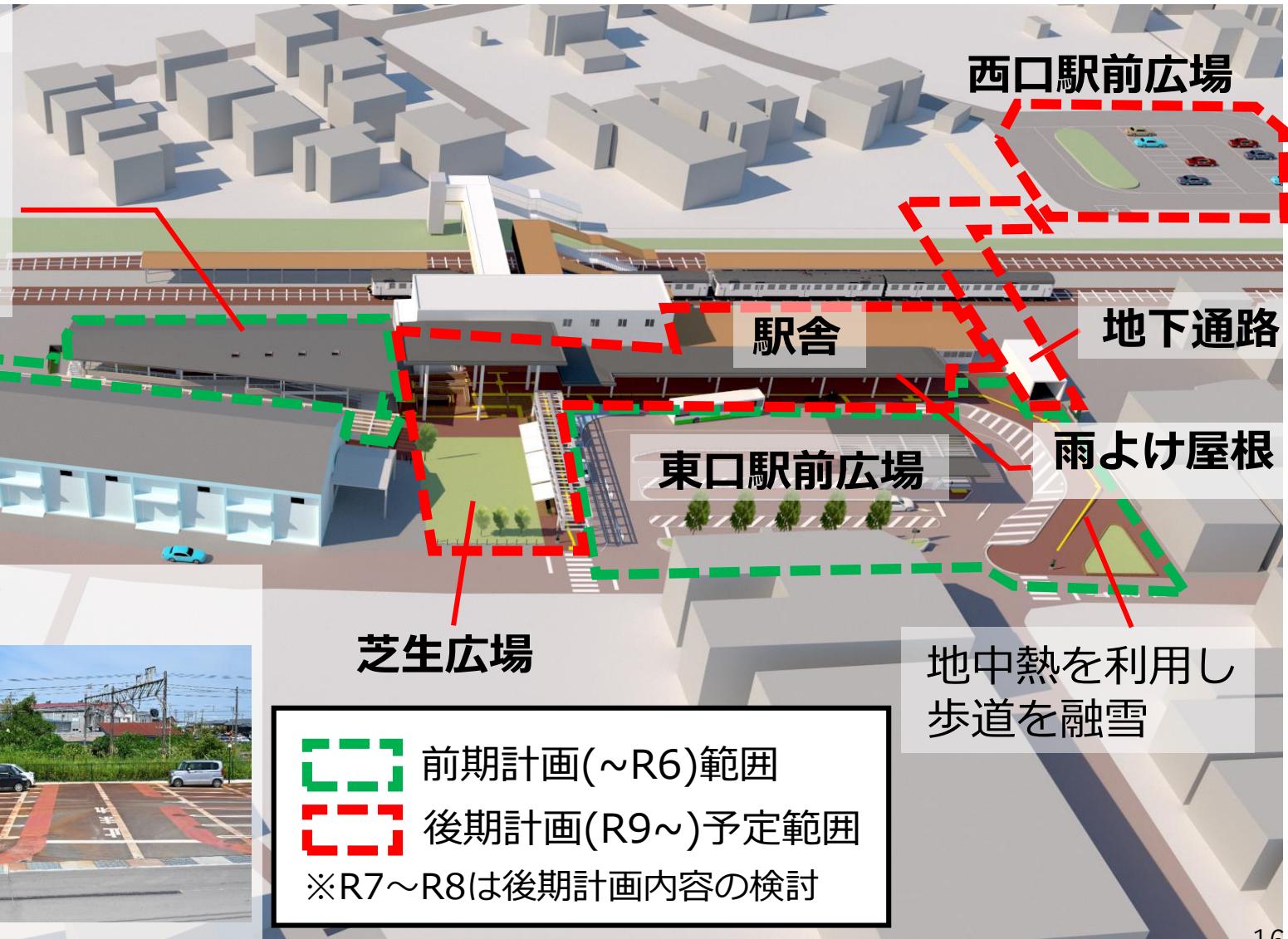
ライドシェアの議論もふまえ 公共交通のあり方を検討

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 見附駅周辺整備事業

交流拠点 MITSUKERU

駐輪場2階を
リノベーション
(R6.5月オープン)

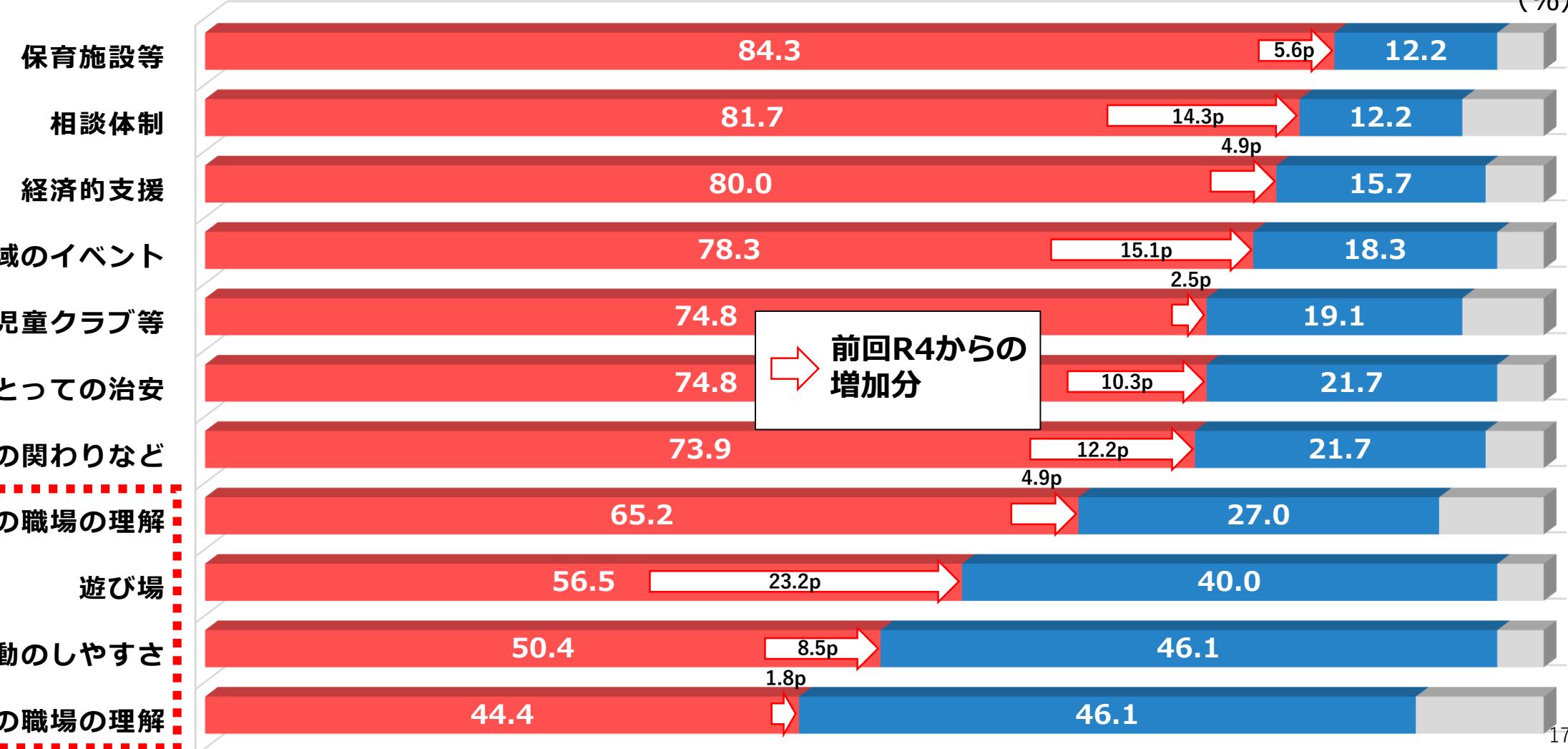


前期計画(~R6)範囲
後期計画(R9~)予定範囲
※R7~R8は後期計画内容の検討

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

Pick UP Q. 見附市の子育て環境について、どの程度満足していますか？

■ 満足 + やや満足 ■ 不満 + やや不満 ■ 無回答 (R6 市民アンケートより、子の同居ありの回答者を集計) (%)



7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 子ども・子育てを“どまんなか”へ

R6.3月制定

▶ 「見附市こども・子育てどまんなか条例」

- ・こども一人ひとりが見附の宝
- ・地域や企業を含め みんなでこどもや子育てを支える
- ・子どもをどまんなかにした子育てのできる地域社会の実現

→ **・子育て世帯が住みたい、住み続けたいと思える
見附をみんなでつくる**



▶ 子育て・出産の負担軽減

- ・「みつけ子育て応援券」配布による子育て世帯の経済的支援
- ・保育料の減額、第3子以降**1・2歳児 全額公費負担、第2子1・2歳児 半額公費負担**
- ・新たに**宿泊型産後ケア**を実施、子育て支援のオンライン相談体制を整備

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶子育てしやすい職場づくり

- ・仕事と子育ての両立支援に取り組む企業を後押ししたい
- 県の「ハッピー・パートナー企業 パパ・ママ子育て応援プラス」認定事業者に市からも支援 ※市内企業の認定事業者：27社（R7年4月現在）

人材確保効果も

男女共に働きやすく、仕事と家庭が両立できる職場環境づくり等に取り組む企業

R5 スタート！

- ・奨励金交付（100千円／件） → R5年度 10件、R6年度 9件
- ・従業員に育休取得させた場合に助成金交付（50千円／件）
R7～全従業員対象 → R5年度 6件、R6年度 3件
- ・既存の設備投資補助に上乗せ（上限200千円／件） → R5年度 1件、R6年度 2件

新潟県



ハッピー・パートナー企業



- ・見附市役所における先導的な取り組み

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 活動・居場所・遊び場の充実

- ・プレイラボみつけ・MITSUKERU

R5.7月オープン

R6.5月オープン



- ・子どもたちの移動手段の一環として
コミュニティバスを中学生以下無料化



R5.7月スタート



- ・コミュニティワゴンの活用による
プレイラボみつけ送迎実施に向けた検討
- ・パティオにいがたでの
大型遊具の導入を検討

こどもや保護者の
ニーズをもとに
ふるさと納税の一部を活用



7つの柱 ②こどもと子育てを支える

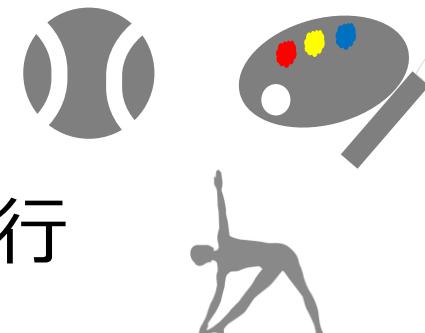
▶ 中学生のスポーツ・文化活動の選択肢の確保

背景
(中学校部活動)

- ・少子化による活動メニューの縮小
- ・生徒の活動ニーズの多様化
- ・教員の業務負担増

部活動の地域移行 + 活動体験の機会提供の一体的な取り組み

- ・スポーツ系種目の拡大
休日の受け入れ先となる団体へ活動を委託
- ・文化系種目の開始
- ・既存の部活動にない活動機会を
提供するわくわく体験型事業の試行



R6実施種目
ソフトテニス、卓球、
野球、バレーボール



7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 見附で育てたくなる教育活動の充実

- ・みつけJobチャレ教育～「起業家精神」「起業家の資質能力」の育成
小・中・特別支援学校で官民学が連携し起業体験や出前授業、
アイディアコンテスト等を実施

+ Jobチャレ図鑑を作成 (R7)

- ・他者と協働しながら
新しい価値を創造する力を育成
- ・将来的な見附での起業・創業も期待



- ・ライフデザインセミナー（中学生対象）
さまざまなライフイベントに向けて、知識を得て、考える機会を提供



- ・新たに「スクール・ソーシャル・ワーカー」を配置 (R7)

進学

就職

結婚

育児

ワークライフ
バランス

など

不登校への
対応を強化

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 公立小中学校のあり方についての検討

背景

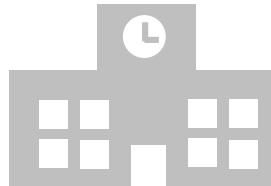
学級数や児童生徒数の減少、偏在

小学校

小規模校の取り組みへの評価の一方で、保護者からの不安の声も

中学校

中学校 2 校 老朽化に伴う大規模改修の予定



- ・ R5 子育て世代を中心に市民の声を聞くタウンミーティング開催
- ・ R6 学校の適正配置などの教育環境を議論する検討委員会の開催
→ 3/19答申
- ・ R7 アンケート等による市民ニーズの把握

→ R7秋を目途に「小中学校適正配置計画案」を策定

7つの柱 ③健幸づくりを支える

▶ 誰も取り残さない社会の実現

・ 障がい者施策の充実

・ 「見附市障がいを理由とする差別のない

だれもが共に暮らせるまちづくり条例」



R7.3月制定

→ 障がいを理由とした差別の解消や共生社会の実現を目指す

Pick UP

障害福祉サービス
事業費は増加傾向

	R2年度	…	R5年度
事 業 所 数	約1.15倍	…	40 事業所
サ – ビ ス 費	約1.28倍	…	920,486 千円

- ・ 障がい者の活動機会創出のための新たな支援制度を創設
- ・ 障がい者雇用促進に向けた企業向けセミナーを引き続き実施

7つの柱 ③健幸づくりを支える

▶ スマートウエルネスみつけ の取り組み



▶ 地域医療体制の充実

- ・ 診療所の新規開業に向けた積極的な誘致
重点5科目の開業に上乗せ支援(R4~)
内科 小児科 整形外科 精神科 産婦人科

→ さらなる誘致を展開

- ・ 市立病院の医師確保に向けた獨協医科大学との連携
卒業後の市立病院での勤務を条件に返済が免除される奨学金の貸与

R7年度 2人目



R5年4月 新町に3医院が新規開業
(小児科、内科、精神科)



7つの柱 ③健幸づくりを支える

▶ 住んでいるだけで健やかで幸せに暮らせるまち

「スマートウェルネスみつけ」を

高齢者だけでなく若者や女性、子どもたちにも

- ・ **高齢者お出かけ応援券** 市内公共交通の利用をともなった外出を促進
- ・ **健幸ポイント事業** 交換率等の見直しにより持続可能な形で事業を継続連携
- ・ **MUM UP PARK by 健幸スマイルスタジオ**



- ・ 妊娠・出産を機に心身の不調が現れることも…
- ・ 子育てでママ自身の健康が後回しになりがち

妊婦さんやママの健康づくりや子育て不安の解消へ

対面
+
オンライン

筑波大学監修
プログラム

運動を通して
心身リフレッシュ

専用アプリで
健康状態把握

出産・子育て
情報交換

参加者に
健幸ポイント付与

初回無料体験実施中！



R5年9月からネーブルみつけ内
子育て支援センターで開始！

7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

▶ ソフト面の防災体制の強化

- ・高まる災害リスクへの対応

市

多様な情報発信・
避難所の運営 等

市民の皆様

「自分ごと」
で考えて行動

地域・市

避難困難者を
支える



▲平成16年の
7.13水害の様子

メール,SNS,
電話音声(高齢者)
の活用
市公式LINE
の登録拡大

市職員OBの協力

市民への啓発

地域コミュニティや町内
での取り組み・啓発

支える取り組み

要支援者個別避難計画
外国人避難対応

- ・総合防災訓練 一層効果的な実施方法を模索
 - ・全市一斉での一時避難
 - + 重点地区での指定避難所の立ち上げ・運営等

7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

▶ ハード面の防災体制の強化

・ 地震



- ・木造住宅の耐震化に向けた補助の拡充
(上限額の引き上げ)
- ・吊天井の耐震化 中央公民館で工事を開始、
文化ホールでも改修方法を検討
- ・下水道などのインフラの耐震化、老朽化対策
管路の点検、老朽管の更新・耐震化を継続



▲能登半島地震被災地の様子



▲R7年2月 下水管緊急点検



- ・ 水害 貝喰川改修による浸水対策（県事業）
早期完了に向けた遺跡発掘調査の加速化



- ・ 雪害 持続可能な除雪体制の整備や消雪パイプの維持管理

7つの柱 ⑤市民の皆様に寄り添う

▶ ICTを活用した市民サービスの充実

▶ 市公式LINEの導入

R5.11月 スタート
友だち募集中！

관심のあるジャンルや居住場所に応じた内容をプッシュ型配信

ごみ収集日のお知らせ

子育て関連情報

防災情報

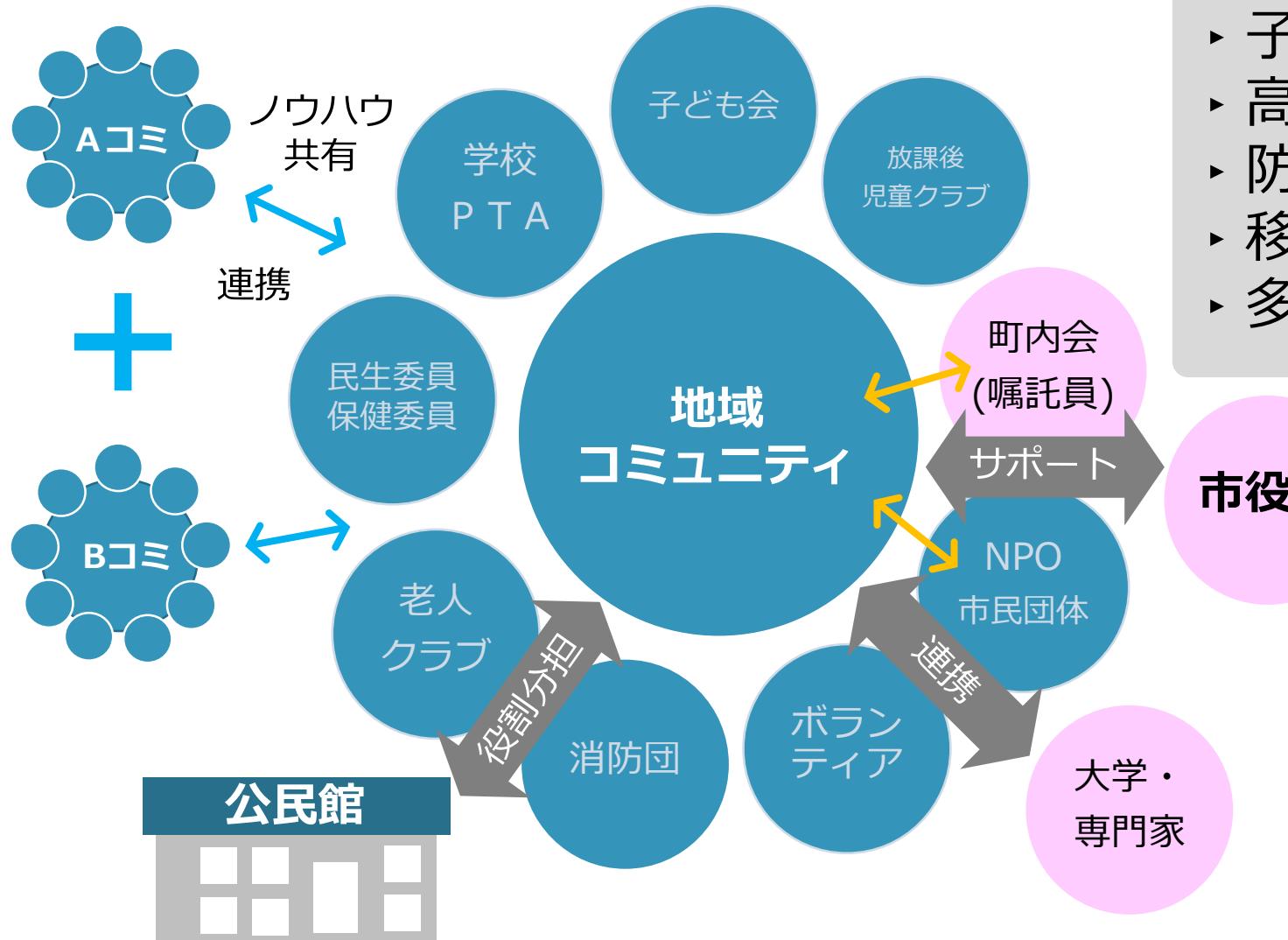
イベント情報

- ・HPや緊急情報メール、SNSなど ICTを活用した効果的・効率的な発信
- ・配布物の電子化による負担軽減
- ・来庁予約受付（ファストパス）の導入
- ・子育て応援カードの電子化 市公式LINEを活用
- ・公共施設予約システムのキャッシュレス決済対応 等



7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

▶ 地域コミュニティの活性化



地域課題の解決に向けた取り組み例

- ・子ども
 - ・高齢者
 - ・防災
 - ・移動支援
 - ・多世代交流
 - ▶ 居場所の創出
 - ▶ 見守り支援
 - ▶ 防災訓練、市民啓発
 - ▶ ワゴンの積極活用
- など

市の支援の取り組み

- ・担当職員の増員
 - ・事業提案型交付金
(チャレンジ枠) の継続
 - ・情報やノウハウの提供
 - ・各種連携の調整
- など

7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

▶ 市民活動・ボランティア活動の推進

- ・市内には約100団体の市民団体が活動
- ・市民力・市民活動の力が見附の大きな自慢



・持続可能な活動体制の構築に向けて支援

- ・**市民活動支援補助金** 補助率の見直し
→ 活動をスタートしやすい環境を整備

・新たな市民活動拠点の整備

- ・旧医療施設の有効活用（1F部分を改修）
→ 市民活動支援センター **まちなかBASEみつけ**

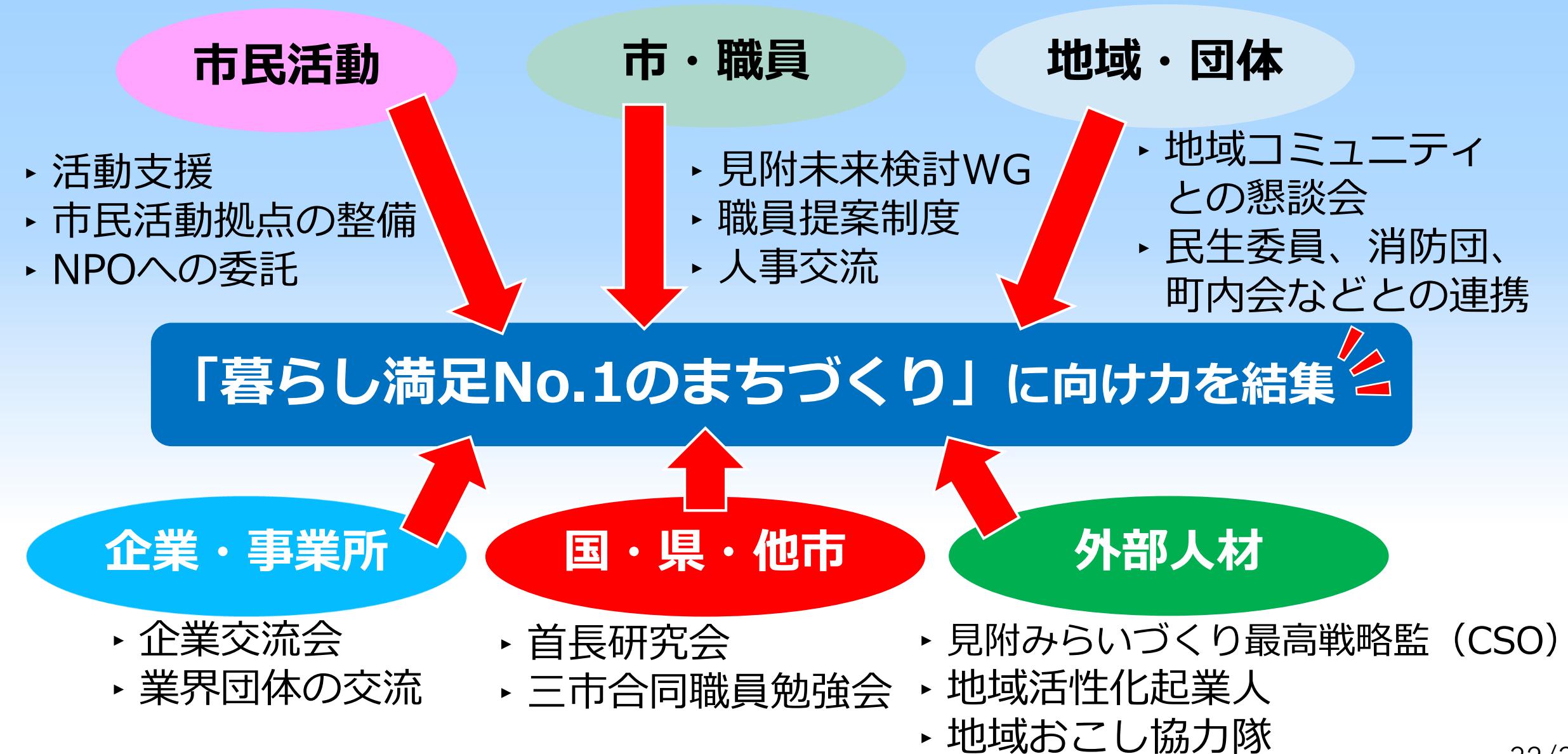
- ・社会課題解決に向けた活動、各種団体の窓口機能確保をサポート



▲イングリッシュガーデンの植栽等を行なう「ナチュラルガーデンクラブ」

R7.6月オープン

7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する



7つの柱 ⑦行財政を検証し必要に応じ見直す

Pick UP 中長期財政見通し

多くの年度で歳出超過の見込み

	R5 実績額	R6 実績額	…	R13 見込額	R14 見込額	R15 見込額	(円)
市の基金増減額		▲ 72百万	…		▲ 6億74百万	▲ 7億 5百万	
市の基金残高	43億76百万	43億 4百万	…	33億73百万	26億99百万	19億94百万	

将来的には楽観視できる状況にない

▶ 今後の取り組み

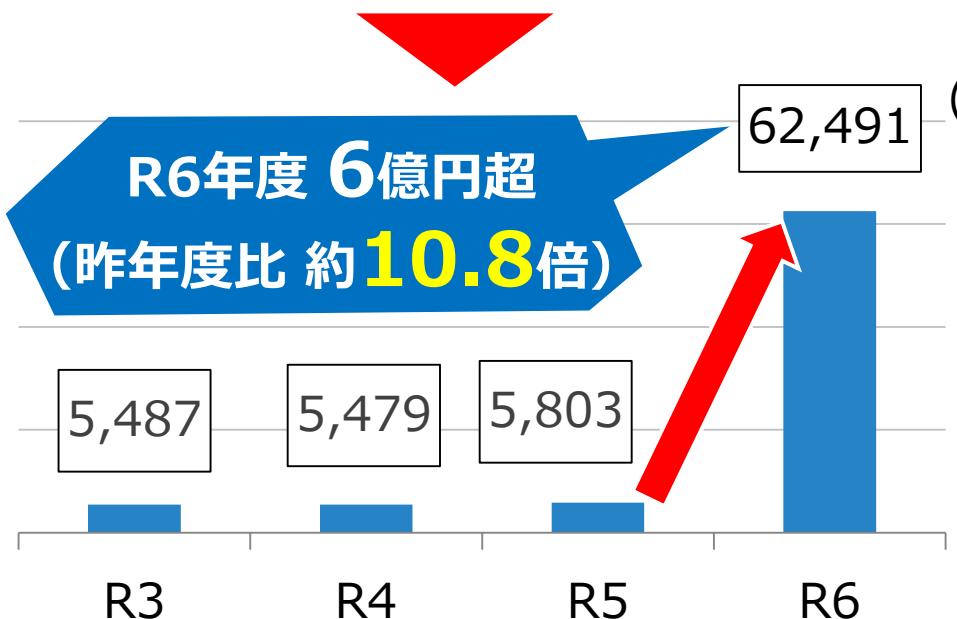
- ・歳入確保
地場産業の活性化や企業誘致、ふるさと納税、公共施設利用料の見直しなど
- ・歳出見直し
事業の内容や計画の検証、ICTを活用したサービス効率化による経費削減など
- ・公共施設等最適化
集約・複合化や運営方法見直し、民間活力の導入、施設の再編や有効活用の検討など

→ 課題解決に向けた新たな取り組みへの財源を確保

7つの柱 ⑦行財政を検証し必要に応じ見直す

▶ ふるさと納税の強化

- ▶ 市内事業者の事業拡大支援や返礼品の開発
 - ▶ 寄附額の増加に向け専門事業者に業務を委託



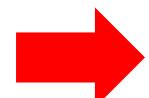
- ・人気返礼品の米の安定確保
 - ・新たな返礼品の開発



総合計画の策定



- ・総合計画は市の最上位計画であり、R7年度が見直しのタイミング
- ・**まちづくり総合審議会**を設置して議論（市民公募の委員も参加）
- ・まちづくり市民アンケートやふれあい懇談会実施による**市民参加**、全部署参加の**全庁体制**で進めていく



**5年10年先の未来を見据えた
持続可能で希望が持てる将来計画へ**

おりに

市民の皆様との
ふれあい懇談会

情報収集と分析

市民の皆様の
声や課題の把握

職員による
施策の議論と提案
職員力の強化

市役所の
人づくり
組織づくり

地域や時代のニーズをとらえた施策をボトムアップで形成



みんなでつくる
暮らし満足No.1のまち